

# 「観光立市郡上」を目指して

郡上市長(岐阜県)

日置敏明



### はじめに

「郡上市」は、平成16年3月に、それまでの郡上郡7町村が合併して市制施行をした人口約4万2000人の新市。名神高速道路の一宮JCT(愛知県一宮市)から分岐して北上し、岐阜県内を経て、小矢部砺波JCT(富山県小矢部市)で北陸自動車道に接続する「東海北陸自動車道」(延長約185km)のほぼ中央部分沿線の山間地域である。市域を、この高速道路が約51・7kmにわたって南北に貫いており、南の方から順に、「美並」「郡上八幡」「ぎふ大和」「白鳥」「高鷲」「ひるがの高原」(スマートIC)と、6つのICが並んでいる。市の面積は約1030km<sup>2</sup>、その9割が山林で、長良川や和良

川、石徹白川など24本の一級河川が流れている。まさに「山と川のまち」である。

### 白山信仰と郡上街道

「郡上街道」は、中山道の加納宿(岐阜市)から北上し、岐阜市、関市、美濃市を経て郡上市内に入り、市内の北部、白鳥町前谷というところから西に折れて急峻な山道を登り、峠を下って石徹白という山里に至る街道である。石徹白には「白山中居神社」があり、白鳥町長滝には「長滝白山神社・長瀧寺」が鎮座する。また、郡上街道が郡上市内に入る手前の美濃市須原には洲原神社(長滝白山神社の前宮)がある。いずれも「白山信仰」(養老元年、西暦717年、越前の僧、泰澄によって開山とさ

れる。)にとって重要な神社・寺であり、そもそも郡上街道は、美濃側からこれら三つの社寺参詣等を経て「白山」(石徹白の北方約20kmの岐阜・石川県境に位置、標高2702m)への登拜を目指す修験者や信者が行き交う「信仰の道」として整備されたという(他に加賀と越前からの道もある)。



長滝白山神社・長瀧寺

### 魅力的な 景観・歴史・文化

なお、白鳥町前谷から西に折れないでさらに北上し、高鷲の北端、ひるがの高原を経て飛騨高山や白川郷に至る街道は、「飛騨街道」や「白川街道」と呼ばれてきた。さて、現代の郡上街道(飛騨街道、白川街道)は、往古の姿をほとんどとどめていないが、おおむねそのルート上を国道156号、東海北陸自動車道、それに長良川鉄道(終点は白鳥町の北濃駅)が、長良川を中心にして右に左にと交差しながら走っており、山と川と里の美しい景観を呈している。昭和47年に国道156号で郡上へ入った司馬遼太郎さんは、あの名シリーズ『街道をゆく』の「郡上・



郡上八幡城

白川街道と越中諸道」篇の中で、その印象を「美濃国は、北方は山波をかさねている。その山襲を削るようにして長良川が奔り、上流へゆくほど隠国の観がふかい。」と、美しい文章で書き記している。そして、郡上八幡城を「日本の山城の典型のひとつ」と紹介するとともに、応仁の乱のさなかにあって、和歌十首で奪われた城（篠脇城）を取り戻した当時の郡上山田庄の領主、東常縁のことを「室町武家の典雅さ」を示す逸話として取り上げている。もちろん、東海地方と北陸地方とを結ぶ大動脈、東海北陸自動車道が全通（平成20年7月）して本市を貫通している現在では、郡上市に「隠国」という印象はもはや薄いのもかもしれない。しかし、山国の美しい景観

宝などに約10カ所のスキー場があり、多数のスキーヤーやスノーボーダーが訪れる。また、夏には長良川や和良川に「鮎の友釣り」

### 郡上街道(白川街道)

**一口メモ**

#### 太平洋と日本海を結ぶ道

南流する長良川と、ひるが野の分水嶺を挟んで北流する庄川沿いに進む街道が、郡上街道と白川街

道である。郡上八幡の城下町は、清流吉田川（長良川の支流）と郡上八幡城が美しい珠玉のようなまち。白山の開基、僧・泰澄が創建した長滝白山神社・長瀧寺は、かつて白山への登拝口（美濃馬場）として、「上り千人、下り千人」のにぎわいを見せたという。「太平洋と日本海を桜でつなごう」と、旧国鉄バス車掌の佐藤良一さん（白鳥町出身）が、名金線（名古屋〜金沢）沿いに桜を植え続けたことは有名。

企画協力…全国街道交流会「街道交流首長会」

や地域に刻まれた歴史、育まれた文化はまだまだローカル色豊かで魅力的である。貴重な地域資源として、大切にし、生かしていきたい。

### 「観光立市郡上」を目指して

「郡上」と言えば、城下町郡上八幡と北部の中心のまち白鳥で夏の夜にそれぞれ約30夜または約20夜にわたって繰り広げられる「郡上おどり」と「白鳥おどり」が有名である。これらの踊りは、地元の人だけでなく観光客などもすぐ一緒に踊ることができるといえる。郡上では、「日本一のおどりのまち」づくりを目指して各種の振興策に取り組んでいる。冬ともなれば、郡上市はウインタースポーツの聖地となる。市内には高鷲、白鳥、明

を楽しむ人たちが押し寄せ、近年では美並辺りの長良川ではラフティングなども盛んである。四季を通じての観光やアウトドアスポーツ・活動もこれからさらに盛んにしていきたい。

平成29年度から、郡上市では「観光立市郡上」を地方創生やまちづくりの重要政策として掲げ、宿泊機能の充実や八幡北町重伝建地区の無電柱化などの観光資源磨き、内外誘客の強化、観光関連団

体の組織強化などに取り組んでいる。時あたかも、東海北陸自動車道の白鳥ICを目指して、福井県側からの中部縦貫自動車道建設も着々と進行しているし、郡上市・下呂市・中津川市を結ぶ濃飛横断自動車道の整備も動き出している。こうした「現代の街道づくり」による道路ネットワーク整備にも呼応しながら、郡上市の「街道を活用したまちづくり」を一層積極的に進めていきたい。